

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 年 月 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」姥ヶ山校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		お子さまが課題に取り組みやすいように支援スペースを広すぎず狭すぎない形でご提供している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			お子さま 1 人につき指導員を 1 人配置。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	2	バリアフリー設備はないが、お子さまが過ごしやすいように設備を整えている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			業務の優先順位、取り組み方、振り返り等を行い、業務効率化に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		保護者様の要望、意向等を確認し事業所内での業務改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2		保護者様の感じた事業所の姿を真摯に受け止め、事業所だけではなく職員自身の改善にも繋げている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6		他機関の感じた自事業所の印象等を真摯に受け止め、早期に改善出来ることはすぐに行動し改善している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			事業所内研修だけではなく、外部研修にも積極的に参加しスキルアップに繋げている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者様の困り感、要望等を丁寧に聞きとり、要望に沿った個別支援計画書の作成を今後も行っていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	1	保護者様への聞き取りだけではなく、発達検査等の詳細が分かるものを参考にしアセスメントを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		1	職員 1 人ではなく全員でお子さまをサポートできるように、プログラムを全員で考えている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			今後も指導員を固定化せず、お子さまが楽しく支援課題に取り組めるように都度課題を変えて行っている。

⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		長期休暇は学校の宿題、平日および休日は学校生活の振り返りやきりりのプリント課題を行っている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		お子さまの学校や自宅の様子を保護者様から聞き、徐々に集団活動へステップアップできるように段階を設定して作成している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			ご利用で来られるお子さまの人数確認、取り組む支援内容等について確認を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			支援中のお子さまの様子等些細な変化があった場合でもその日のうちに情報共有を行っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			支援を行なったお子さまの記録を漏れなく作成している。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			お子さまの出来るようになったこと等を確認し、新たな課題について保護者様と話し合い、必要があれば内容の変更を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2		基本的な活動を複数組み合わせ支援を実施している。
関係機関 関係 保護者との 連携 関係 機関 関係 保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		支援に携わっている指導員もしくは児童発達支援管理責任者が会議に参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	3		支援級の先生、コーディネーター等の先生と電話連絡を行い、お子さまの学校生活の様子、学習の進捗状況等を情報共有および交換している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	医療的ケアが必要なお子さまのご利用はないが、かかりつけ医の確認を取っており、連絡体制は整えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4		就学前まで利用していた園等から情報提供書をいただき、スムーズな支援が行えるように情報交換を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	支援内容の情報等必要なものについては、支援情報提供書にまとめ、必要な機関に提出できるように準備をしている。

者との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		就学前までの情報について専門機関と情報交換および共有しご助言をいただいている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		5	今後交流機会が持てれば関係機関と連携を取っていく。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	2	参加できない場合でも、情報を交換できるように繋がりを築いていく。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			保護者様とお子さまについて情報確認をし、課題等の共通理解を持てるように取り組んでいる。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		自宅でのお子さまへの関わり方等、保護者様がすぐに取り組める支援について分かりやすく具体的に伝えていく。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に分かりやすく丁寧に説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			保護者様の様子を常に確認し、困り感等について話を聞き適切な助言が行えるように傾聴を心がけている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4		不定期ではあるが保護者様交流会を開催し、保護者様同士で共通の悩み事等を情報交換している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			保護者様から苦情等があった場合、丁寧に傾聴し迅速かつ丁寧に対応を行っている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		小集団イベントチラシやきらりのお手紙等を保護者様へ配布し、事前に情報を周知できるように発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6			今後も鍵付きキャビネットに厳重に保管を行う。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			言葉によるコミュニケーションだけでなく、視覚的に分かりやすいように文字に起こして伝えるようにしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	4	今後地域との繋がりをさらに深める為に検討していく。
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		周知だけでなく、より理解を深めていただけるように訓練の回数も増やしていく。

等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		月1回避難訓練を行っている。訓練は実際の状況を想定し、避難ルートまで確認をしている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待のケースはないがお子さまへの虐待防止、虐待に繋がらないように職員間で話し合いを行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3		身体拘束のケースはないが、お子さま、保護者様、職員に危険が及ぶ場合の対応等について職員間で話し合いを行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4	1	事業所では食べ物を一切扱っていないが、保護者様へ何かしらのアレルギーはあるか確認は取っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		ヒヤリハットについては事業所内で記録を残し情報共有している

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 年 月 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」姥ヶ山校 保護者等数（児童数）40 回収数 20 割合 50%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	3		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	4		新人指導員のお子さまに対する声掛け等のスキルアップをしてほしい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	9	4	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	20			こちらの希望を入れつつ子どもの発達の為に考えてくれて内容もしっかりしている。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	18	2		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	6	11	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	2		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	9	4	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	6		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	5		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	19	1		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	8	2	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	14	3	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	13	3	2	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	2		よく相談にのっていただき助かっている。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。